

令和6年2月 市議会質問答弁

令和6年2月定例会市議会において、水道局関連の質問が提出され答弁を行いましたので、御報告いたします。

1 「くらしき水道ビジョン-2019-」について 水道料金の適正水準についての諮問に至った経緯について

(答) 物価上昇による電力費等の経費等が、令和元年度からの4年間でビジョンの推計値を約8億円上回り、また、国の対策を受けて、令和10年度における基幹管路耐震適合率の目標値を60%に引き上げたことにより、工事費がビジョン策定時より約63億円増加する見込みとなった。

これらの理由から、経営環境が厳しくなる見込みとなり、水道料金の適正水準について、諮問を行った。

2 南海トラフ地震の災害対策について ライフライン（水道）の地震対策の進捗状況について

(答) 本市の基幹管路耐震適合率は、令和3年度末で全国平均同等の41.5%である。

国が令和2年度に策定した「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を受け、令和10年度における基幹管路耐震適合率の目標値を60%としている。